

広報みしま

2月15日号

- 2 シェイクアウト訓練 / 防災講演会
- 3 花壇コンクール参加者募集 / ガーデンシティみしま連載
- 4 ノルディックウオーキング特集
- 6 第2回地域コミュニティ連絡会
- 8 健康づくり
- 9 スポーツ / 春の全国火災予防運動・消防団防火パレード
- 10 暮らしの情報
- 11 情報ワイド版
- 12 文化のひろば / 三島市犯罪^{ゼロ}の日 / 外国籍市民のための^{がいこくせきしみん}無料生活相談会^{むりようせいかつそうだんかい}
- 13 図書館 / 交通事故発生状況
- 14 軽自動車税の税率変更 / 三島市中小企業振興条例を施行
- 15 冬の楽寿園イベント
- 16 みしまの健幸ごはん～健幸レシピ投稿サイト～ / 市民活動団体紹介 要約筆記サークル「OHPみしま」



今回の表紙

沢地幼稚園で行われた避難訓練の様子です。園児たちは、普段の訓練どおりに素早く机の下に潜ることができました。

3月11日(金)には、皆さんも園児たちをお手本に「シェイクアウト訓練」に参加してみてください。

シェイクアウト訓練



地震から身を守る1分間の行動訓練を実施します。
個人、企業、自治会などで参加のお申し込みを。

「シェイクアウト」は、地震の際の安全確保行動を身につける訓練です。あなたも訓練に参加して、「自らの命は自ら守る」行動を実践しましょう。

とき 3月11日(金)午前10時から
対象 市内在住、在勤、在学の人
(市内の一般家庭、企業、団体、自治会、学校・幼稚園など)
開始の合図 午前10時に「声の広報」、「市民メール」などから訓練開始の放送・連絡
内容 ▶訓練①【必須】～3つの安全確保行動～



地震による揺れを感じたら(感じたという想定)、その場で約1分間、安全行動の「①まず低

く、②頭を守り、③動かない」を行う。

▶訓練②【任意】安全行動の後、避難、安否確認、情報収集・伝達、救助、備蓄の確認などを実施

申込み・問合せ 3月10日(木)午後5時までに、電話、FAXまたは電子メールで氏名(団体名)、参加人数、訓練②の実施内容を危機管理課(☎983-2650、FAX 981-7720、✉kiki@city.mishima.shizuoka.jp)へ。

※市ホームページ(<http://www.city.mishima.shizuoka.jp/bousai/detail001213.html>)からの申し込みも可

防災講演会「災害とメディア」～大規模災害の教訓を踏まえ～

災害を重ねる都度、「放送」は報道の仕方を進化させてきました。大規模地震などの災害時に最も頼りになる「放送」。メディアの特性を理解し、情報入手の重要性とその活用方法について考えてみましょう。

とき 3月11日(金)午後7時から※参加無料

ところ 北小学校2階ランチルーム※駐車場に限りがあるため、公共交通機関をご利用ください。

講師・定員 桜井茂樹さん(NHK静岡放送局局長)・先着130人

申込み・問合せ 前日までに電話、FAXまたは電子メールで危機管理課へ。



▲桜井茂樹さん



春の花壇コンクール 参加者募集

市では「三島流オープンガーデン」として、道行く人々やお花好きの皆さんが楽しめるよう、花壇づくりや玄関先のハンギングバスケットなどによる装飾を推奨しています。春の美しさをより多くの人と楽しむために、皆さんの自慢のお庭をコンクールに応募してみませんか。

対象花壇 次の規定に対応する春の花壇 ▶フラワーポット、プランターなどはおおむね5個以上▶草花の種類は不問▶個人、団体の部は道行く人の目にふれる場所にあるもの▶市内の自主製作の花壇のみを対象とし、専門業者に製作や管理を委託しているものは対象外▶樹木の花を中心としたものは対象外

応募部門 保育園の部、幼稚園の部、小学校の部、中学校の部、団体の部、個人の部（エキスパート）、個人の部（ビギナー）

現地審査・表彰式 4月中旬・5月下旬

申込み 2月22日(月)～3月18日(金)に、直接または郵送で、申込書を水と緑の課(〒411-8666北田町4-47)へ。申込書は、市役所、生涯学習センター、中郷文化プラザ、北上文化プラザ、楽寿園、各市立公民館にあります。※申し込み後、4月4日(月)までにカラー写真の提出が必要



▲前回コンクールで入賞した花壇の例

～花づくりを楽しむために～
初めての園芸⑬
「切り上手は花咲かせ上手」

開花期の長い草花は、伸びた枝先に花を付けながら成長していきます。

- ▶節と節の間が間延びしている
- ▶草丈が高くなり花数が減る
- ▶根元付近の葉が黄色く枯れ始めている

このようなときは思い切って全体の枝を切り詰めて株の若返りをさせましょう。コツは伸びた茎の3分の1、次の芽がある節の上を、または葉を何枚か残して切ることです。適期は花が終わった直後、または梅雨明け前です。夏の暑さによる蒸れや病気を予防することができます。秋には再び若い枝が伸びてたくさんの花が咲きます。

「私も参加しています」
ガーデンシティ

15

諏訪部敏之さん (丸善工業株式会社取締役会長)

三島市の印象はうるおいがある街だということです。子どものころ、桜川でよく泳いで遊びました。当時、夏には豊かな湧水が満々と流れ、道にあふれるほどでした。夏にはホテルが無い自然が美しく、山では木の枝でちゃんばらをして遊びました。このような山や川で遊んだ幼児期の体験から三島の自然を守りたいという想いが強くなりました。私が委員を務める三島市ふるさとの緑保全基金推進協議会では、発足当初から三島に残る巨樹や古木を守るための活動をしています。皆さん

には、市内に残る名木にもっと目を向けてもらいたいと思います。感動するはずです。

三島には水と緑があり、花が美しく食の魅力もある。街を歩く楽しさを感じますので、さらに多くの方に歩いていただきたいです。

今の三島の街は活気があります。若い人に元気があるので、新しい動きが次々見られ、それが農商工連携や街の勢いにつながっていると思います。

ふるさと三島のためにこれからもできることはお手伝いしていきたいと考えています。

